平成 23 年度　事務事業事後評価調書　(平成　22　年度事業)

整理番号	3	―	8

1　事務事業の表示

※ ■ ：　該当

事務事業名	車両運行業務民間委託事業					
評価者	担当課名		税財管理課	担当係名		管財係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	久保田　和　孝		氏名	武藤知憲
事業の概要	車両運行、輸送業務の円滑化を図り、人件費等の経費削減を行うため、スクールバス4台、給食配送車2台、福祉バス、生涯学習バスの運行業務を民間業者に委託する。					

全体計画	/単年度繰返	
(平成 20 年度～ 24 年度)		
事業費	国・道支出金	千円
	地方債	千円
	その他	千円
	一般財源	132,100 千円
	事業費計	132,100 千円

実施方法		直営	■	民間委託		その他 (　　)
第 5 期 総合計画 (前期)	■	登載事業		非登載事業	優先度	B

事業の位置付け			
政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	
基本施策	24	効果的・効率的な行政経営	
単位施策	3	地方分権型行政の推進	
事務事業の種類	■	自治事務	法定受託事務
その他計画・根拠等			

事業費	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(計画)
国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
雄武町負担額 (一般財源)	26,433 千円	27,933 千円	28,283 千円	26,775 千円	26,775 千円
合計	26,433 千円	27,933 千円	28,283 千円	26,775 千円	26,775 千円

2　事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が (対象)】	町内児童・生徒・一般町民	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	円滑な運行及び輸送業務を行う車両の老朽化及び腐食による修繕費の増	民間委託台数		
		指標 (指標計算式／解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか (意図)】	安全で円滑な運行及び輸送業務の遂行	① 業務委託車両台数	目標年度	平成22年度
			目標値	8 台
			実績値	8 台
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	安全で円滑な運行及び輸送業務の遂行	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容 (どのような手段で何を行ったか)	
業務委託	スクールバス4台、給食配送車2台、福祉バス及び生涯学習バスの計8台の一括車両運行業務の民間委託契約【平成21年度～平成23年度まで (3年間) の長期継続契約】
業務委託変更契約	中学校冬期間スクールバス2便増便 (委託料の増額) に伴う変更契約

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	経費節減及び円滑な運行管理を実施するには、引続き民間委託が必要である。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	一括民間契約を締結することにより、柔軟かつ円滑な運行及び 輸送業務を行うことができ有効である。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ■事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 □その他	民間に委託したため、人件費等の抑制を図ることができた。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある ■受益者負担がない □受益が一部に偏る □その他	車両運行対象者全ての方が対象であり公平である。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
効率的な経費削減を図るためにも、計画通り事業を進めることが必要である。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
効果的な財政削減及び車両の運行・輸送業務の円滑化を図るためには、計画通り事業を継続する必要がある。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）